
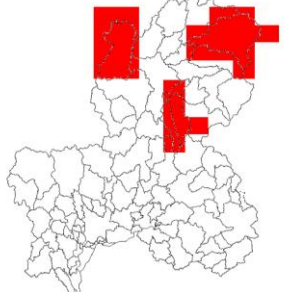


ニッコウハリスゲ		<i>Carex fulva</i> Franch.	絶滅危惧I類
		カヤツリグサ科	
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。		写真(清水英彦) 標本 
形態の特徴	叢生し、基部の鞘は黄褐色から褐色。花茎は著しくざらつく。葉の幅は2mm前後。小穂は1個頂生し、雄雌性で7mm以下、雄花部は雌花部よりも短い。雄鱗片は淡褐色、鋭頭から鈍頭。雌鱗片は淡褐色、鈍頭、果胞より短い。果胞は卵形～広卵形で3mm、脈は明瞭、無毛、口部は平切形～凹形、瘦果を著しく緩くつつむ。柱頭は3岐。花期は6-7月。		
生態的特徴	ブナ帯の湿地や流水縁に生育する多年草。		
分布状況	本州(中部以北)に分布し、岐阜県では県北に分布する。		
減少要因	開発に伴う山林伐採、開発による湿地の消失。		
保全対策	山林の保全、開発行為からの湿地の保全。		
特記事項			
参考文献	勝山輝男. 2005.「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011.「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.		

文責: 清水英彦